
ヴェルサイユの薔薇と百合

千野里久

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ヴェルサイユの薔薇と百合

【Nコード】

N5312I

【作者名】

千野里久

【あらすじ】

革命前夜のフランスで、二人の騎士が出会った。

愛と忠誠

信頼と裏切り

王政と革命

男と女．．．

運命の悪戯は、歴史の激しいうねりと共に、二人の騎士を引き合わ

せる。

まるで終局へいざなうように…

フランス革命をベースとした二大作品、「ベルサイユのばら」「シュヴァリエ」の二次創作物。

プロローグ（前書き）

佐藤賢一の小説フランス革命を読み、フランス革命熱が…

それにつられて見たアニメ、ベルサイユのばらとシユヴァリエ。

主人公の奇妙な共通点に何かを感じ、まるで誰彼構わずギロチンに
掛けまくるロベスピエールのごとくキーを執った。

遅筆 & amp; 駄文ですがお付き合い下さいませ

千野里久

プロローグ

始めに言葉ありき

ある二人の「騎士」が居た。

一人は、まるで一輪の薔薇のごとく気高くも、古今希なる美しさを兼ね備えていた。

彼、いや、「彼女」の名は

オスカル・フランソワ・ド・ジャルジエ。

世に言う「男装の麗人」である。

そして、もう一人。いやまたこれも「二人」と言うべきか。

才色兼備を武器に他国を翻弄した艶やかながらも、静寂な白霧に包まれた一輪の百合。

名を

デオーン・ド・ボーモン。

そして

リア・ド・ボーモン。

「シュヴァリエ・デオーン」と呼ばれた外交官である。

この騎士達が出会ったのはブルボン朝フランス王国の牙城、ヴェルサイユ。

時はフランス革命前夜の1750年代。
国王ルイ15世の御代であった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5312i/>

ヴェルサイユの薔薇と百合

2010年10月10日06時49分発行